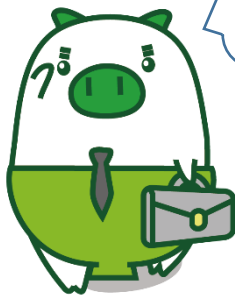


(3) 自然災害から身を守る

地球温暖化が進むと、大雨が増え、洪水などの災害も多くなるといわれています。災害から身を守ることはとても大切です。ここでは、みなさんもできることを3つ紹介します。(参考：福岡県防災ハンドブック改訂版)

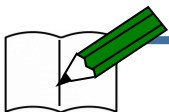
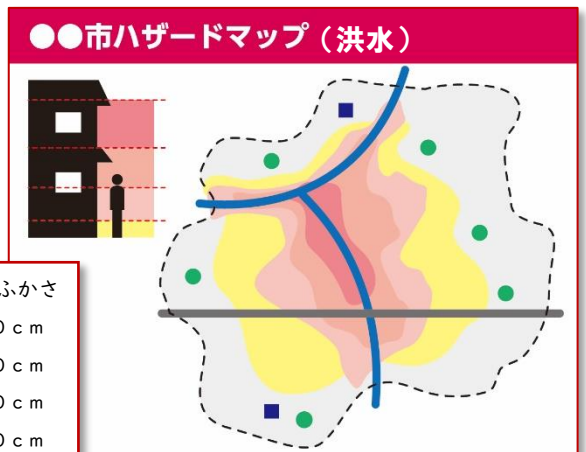
①ハザードマップを見てみよう

ハザードマップとは災害が起きるかもしれない場所や避難する場所が描かれた地図です。これを見ると、災害の時にどこが危険かわかります。



ハザードマップは役所のまどぐちやホームページで確認することができます。

水のふかさ	
● ひなんばしょ 避難場所	300 cm
■	200 cm
	100 cm
	30 cm



ワーク⑭ とりくんでみよう

家族でハザードマップを見て、災害が起きた時のことを話し合っておこう。



(家のまわりに危険なところはないか)

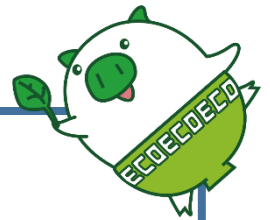
(どのような時に危険なのか)



② 避難場所を確認しよう

自分たちの避難場所に行ったことがありますか。学校、公園、公民館などがあります。いざというとき困らないように、家族で確認しておきましょう。

避難場所は、洪水や地震など災害によって違うので注意しよう。



ワーク⑮ とりくんでみよう

休みの日を利用して、家族みんなで避難場所までの道を歩いてみよう。いざという時に役立つよ。

(途中に危険なところはないか)

(他に気づいたこと)



③ 災害で必要なものを備えよう

保存できる食べ物や飲み水などを、日ごろから備えておくことは大切です。できれば7日分は備えておきましょう。

食べ物や飲み水は、半年に1回くらい点検しましょう。

入れ替えた食べ物を使った「防災ピクニック」をしてみてもいいでしょう。

